

ASBJ Newsletter



目次

1. 企業会計基準等の開発（2011年12月1日～2012年1月31日）
2. 企業会計基準委員会の概要（第234回～第236回）
3. IASBに対するASBJのコメント
4. IASB改訂公開草案「顧客との契約から生じる収益」に関する意見募集
5. 中小企業の会計に関する検討会報告書（中間報告）「中小企業の会計に関する基本要領」の公表
6. ASBJとFASFの代表者による定期会合（第12回）をノーウォークで開催
7. Hans Hoogervorst IASB議長が来日（FASF会議室で記者懇談会をIASB主催で開催）
8. 企業会計基準委員会委員の追加選任
9. 関西経済連合会の勉強会に新井副委員長が講師として参加
10. お知らせ
 - 1) 刊行物のご案内
 - 2) ASBJオープン・セミナーのご案内

≪ご注意≫本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

1. 企業会計基準等の開発（2011年12月1日～2012年1月31日）

- 1) 【ED】 [実務対応報告公開草案第 37 号「改正法人税法及び復興財源確保法に伴う税率変更等に係る四半期財務諸表における税金費用の実務上の取扱い\(案\)」](#)の公表（2011年12月22日）（コメントの募集は2012年1月11日までとなっています。）
- 2) 【Final】 [実務対応報告第 28 号「改正法人税法及び復興財源確保法に伴う税率変更等に係る四半期財務諸表における税金費用の実務上の取扱い」](#)の公表（2012年1月20日）

【凡例】

ED：公開草案

Final：会計基準/適用指針等（最終）

2. 企業会計基準委員会の概要（第 234 回～第 236 回）

1) [第 234 回（2011年12月21日開催）](#)

- a. 実務対応報告公開草案「改正法人税法及び復興財源確保法に伴う税率変更等に係る四半期財務諸表における税金費用の実務上の取扱い(案)」【公表議決】
- b. 収益認識専門委員会における検討状況
- c. 連結・特別目的会社専門委員会における検討状況
- d. 金融商品専門委員会における検討状況

a. 「改正法人税法」及び「復興財源確保法」が2011年12月2日に公布されました。

これに伴い、3月決算会社においては、四半期会計期間中に税率の変更が行われることとなりますが、四半期財務諸表における税金費用の取扱いに関して、開示の迅速性を踏まえた実務上の対応方法に係る

照会が多くあることから、実務対応報告の公表が検討されました。

公開草案は、①年度決算と同様の方法で税金費用を計算している場合、②四半期特有の会計処理により税金費用を計算している場合、③適時に一時差異等のスケジュールリングを行うことが実務上困難な場合の取扱いを Q&A 形式で示しています。

適用時期は、改正法人税法等の公布日以後に終了する四半期会計期間としています。

改正法人税法等の公布日以後で、実務対応報告の公表日前に終了した四半期会計期間についても適用となります。

- b. 2011年11月14日、IASBとFASBは、収益認識に関する改訂公開草案「顧客との契約から生じる収益」を公表し、2012年3月までコメントを募集しています。

委員会では、改訂公開草案が我が国の会計実務へ与える影響を理解するとともに、改善を要する点を早期に把握し、意見発信を行うため、改訂公開草案の内容について、広く関係者から意見を募ることとし、その公表のための検討を行いました。

- c. IASB 公開草案「投資企業」に対するコメントの最終検討が行われました。
- d. IASB が IFRS 第 9 号「金融商品」の限定的な修正を検討することを暫定決定したことについての検討が行われました。

2) [第 235 回（2012年1月10日開催）](#)

- a. 「単体財務諸表に関する検討会議」に関連する項目の検討

- b. 金融商品専門委員会における検討状況

- a. 「無形資産（開発費の資産計上）」、「企業結合ステップ 2（のれんの非償却）」、「退職給付ステップ 1（退職給付会計における未認識項目の負債計上）」、「包括利益の表示（単体財務諸表の取扱い）」については、

しばらく審議が中断していましたが、これらの項目の検討を進めることの審議が行われました。

今後、それぞれの項目ごとに、会計基準を開発又は改正することに関する市場関係者のコンセンサスや、IASBのアジェンダ・コンサルテーションに対する委員会の提案スタンスを考慮しながら、検討が進められます。

- b. 複合金融商品の会計処理について、①複合金融商品に組み込まれたデリバティブを区分すべきか、②区分する場合の取扱い等の検討が行われました。

委員からは、企業の事業戦略やリスク管理を正しく財務諸表に反映させるという考え方について、複雑性の軽減という観点と、恣意性の排除や比較可能性の確保という観点から、各々意見が示されています。

3) 第 236 回 (2012 年 1 月 19 日開催)

- a. 税制改正関連 (法人税率変更等) 対応 (①実務対応報告「改正法人税法及び復興財源確保法に伴う税率変更等に係る四半期財務諸表における税金費用の実務上の取扱い (案)」【公表議決】、②その他の関連する検討)
- b. 退職給付 (ステップ 1) の検討状況
- c. 収益認識専門委員会における検討状況

- a. 公開草案のコメント分析が行われました。

公開草案からの大きな変更はなく、公表の議決が行われています。

翌事業年度以降の取扱いについても、「その他の関連する検討」として審議が行われました。

- b. 前回の委員会で審議を再開するとしたことを受けて、連結財務諸表においては、未認識項目を負債計上し、単体財務諸表については、現行の処理を維持する方向で検討が進められました。今回の委員会では、大

きく 2 つの論点が検討されています。

1 つは、単体財務諸表において、任意で未認識項目の一括負債計上の取扱いを認めるかですが、認めない取扱いを支持する意見が多いものの、単体の検討は切り離して進めるほうが良いのではないかという意見もあります。

もう 1 つの論点は、単体財務諸表における追加開示についてですが、連結と異なる処理をしている旨のみの開示とするか、仮に一括負債計上した場合の金額情報も併せて開示すべきかが議論されました。これについては、連結と異なる処理をしている旨のみの開示にとどめる意見が多くなっています。

- c. 収益認識に関する IASB 公開草案に対するコメントの方向性について検討が行われました。

3. IASB に対する ASBJ のコメント

ASBJ は、IASB がコメントを募集していた公開草案「投資企業」に対し 2012 年 1 月 5 日付けでコメントを提出しています。

4. IASB 改訂公開草案「顧客との契約から生じる収益」に関する意見募集

2011 年 11 月 14 日に、IASB は、FASB と共同して、収益認識に関する改訂公開草案「顧客との契約から生じる収益」(以下「改訂公開草案」という。)を公表しました。ASBJ では、これまで、収益認識に関する IASB と FASB の共同の取組みについて、国際的な高品質の会計基準となるよう、IASB 及び FASB との協議やコメントレターの提出などを通じ、継続的に意見発信を行ってきました。

このような中、ASBJ では、改訂公開草案の提案内容が我が国の会計実務へ与え

る影響を理解し、我が国の視点から改善を求めべき点を早期に把握した上で、IASB 及び FASB に対して引き続き意見発信を行っていくため、改訂公開草案の提案について、2011 年 12 月 22 日～2012 年 2 月 17 日までの間、広く市場関係者から意見募集を行っています。

5. 中小企業の会計に関する検討会報告書（中間報告）「中小企業の会計に関する基本要領」の公表

西川郁生 ASBJ 委員長が参加し、中小企業関係者等が主体となって設置された「中小企業の会計に関する検討会」（中小企業庁及び金融庁は共同事務局）では、2012 年 2 月 1 日、「中小企業の会計に関する基本要領」（以下「中小会計要領」という。）を策定し、それに至った経緯、今後の検討課題などと合わせ、「中小企業の会計に関する検討会報告書（中間報告）」として取りまとめ、公表しました。

中小会計要領は 2011 年 11 月 8 日に草案を公表し、広くコメント募集を行った後、関係各方面から寄せられたコメントを検討し、所要の修正を行った上で取りまとめられたものです。

6. ASBJ と FASB の代表者による定期会合（第 12 回）をノーウォークで開催

ASBJ と FASB の代表者は、2012 年 2 月 6 日と 2 月 7 日に、ノーウォーク（米国）で会合を開催いたしました。この会合は、ASBJ と FASB が年に 2 回、定期的に行っているもので、今回で第 12 回目となりました。

ASBJ は、日本基準と IFRS とのコンバージェンスを、FASB と IASB が共同で取り組んでいるプロジェクトの内容を

踏まえて行っており、高品質なグローバル会計基準の開発を目指す FASB と IASB の取り組みを支持しています。

本会議において、両者は、高品質なグローバル会計基準の開発に貢献するという観点から、お互いの活動の最新状況を確認し、議論しました。その中で、ASBJ から、IASB が現在取り組んでいるアジェンダ・コンサルテーションに対して ASBJ が提出したコメントについても説明しました。

さらに、両者は以下のプロジェクトの状況について意見交換を行いました。

- ・ 金融資産の減損
- ・ 金融商品の分類と測定、及び保険契約
- ・ ヘッジ会計
- ・ 収益認識
- ・ リース
- ・ 投資会社

両者は、このような継続的な議論により、IASB とともに改善を図るべき重要な項目に関する相互理解を深めることは、ASBJ 及び FASB における今後の審議や、高品質な会計基準の開発に寄与するものと考えています。両者は、引き続き、直面する課題や今後想定される懸案事項について意見交換していくこととしています。

7. Hans Hoogervorst IASB 議長が来日（FASF 会議室で記者懇談会を IASB 主催で開催）

2012 年 2 月 9 日、来日中の Hans Hoogervorst IASB 議長が、財務会計基準機構（FASF）会議室において記者懇談会を開催しました。

当日は、鶯地 IASB 理事、Michael Stewart IASB ディレクターも参加し、IASB の近況説明（アジェンダ・コンサルテーションに係る概況説明を含む）などに

ついて説明した後、20 数名集まった報道関係者の質問にこたえる形で進められました。



8. 企業会計基準委員会委員の追加選任

FASF では 2011 年 12 月 26 日、吉田稔氏（旭化成(株)経営管理部顧問）を ASBJ 委員として追加選任することを決議いたしました。任期は 2011 年 12 月 26 日から 2013 年 3 月 31 日までとなります。

9. 関西経済連合会の勉強会に新井副委員長が講師として参加

2012 年 1 月 13 日、関西経済連合会内に設置された「国際会計基準と企業経営に関する研究会」に ASBJ の新井副委員長及び西村専門研究員が講師として参加しました。

当日は、最近の ASBJ の活動状況や IASB の改訂公開草案「顧客との契約から生じる収益」等について解説を行うとともに、参加者との意見交換を行いました。

10. お知らせ

1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 35 号
(2011 年 12 月 15 日刊行)

【主な内容】

- ✓ 特集：座談会「国際舞台で活躍する

方々に聞く」

(出席者)

鷲地隆継：IASB 理事

湯浅一生：IFRS 解釈指針委員会委員

金子誠一：IFRS 諮問会議委員

山田浩史：GPF 委員

石黒徹次郎：GPF 委員

加藤厚：ASBJ 副委員長

(司会) 西川郁生 ASBJ 委員長

- ✓ Accounting Square：“会計及び監査を取り巻く環境変化への対応と人材育成”…初川浩司あたら監査法人代表執行役
- ✓ 寄稿：“基準諮問会議の議長就任にあたって”…野崎邦夫住友化学(株)常務執行役員
- ✓ Chairman's Voice：“AOSSG 議長を終えて”…西川郁生 ASBJ 委員長

※ご購入は[こちら](#)。

※第 30 号より、FASF 会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホームページ\(会員専用サイト\)よりご覧になることができます](#)。どうぞご利用ください。

- ② 2011 年 5 月・6 月公表 国際財務報告基準(IFRS) 特別追補版の刊行
(2012 年 1 月 13 日刊行)

本書は、2011 年 11 月に刊行した『国際財務報告基準 (IFRS®) 2011』の原書 (英語版)の発行後に IASB が公表した、新規及び改訂版の基準の日本語訳を、一冊に収録したものです。

IFRS の日本語訳は、IASB が毎年発行する英語版に基づき、2009 年以降毎年刊行していますが、2011 年に公表された新基準及び改訂基準は分量が多く内容も重要であるため翻訳を早期に利

用したいというニーズを考慮し、2011年版の日本語訳を補完するものとして、2012年版の日本語訳に先行する形で、2011年公表の新基準及び改訂基準のみの日本語訳をまとめた本書を刊行することとしたものです。

※ご購入は[こちら](#)。

2) ASBJ オープン・セミナーのご案内

ASBJ/FASFでは、会員の皆様へ向け、内外の会計基準の動向等をタイムリーにお知らせするため、昨年度よりASBJ オープン・セミナーを開催しています。

2011年度下期も以下の日程で開催いたします(参加は[ASBJ ホームページから登録](#)できます)。

回数	日時	場所	時間
第6回	2012年3月6日(火)	メルパルクホール(東京)	午後を予定 (3時間程度)
第7回	2012年3月7日(水)	ダイテックサカエ(名古屋)	
第8回	2012年3月9日(金)	大阪銀行協会(大阪)	
第9回	2012年3月13日(火)	札幌証券取引所(札幌)	
第10回	2012年3月16日(金)	天神ビル(福岡)	

また、4月3日(火)には、東京イイノホールにおいて、Hans Hoogervorst IASB 議長をお招きした講演会の開催を予定しています。詳細は、3月初旬にASBJ ホームページにてご案内いたします。

“ASBJ Newsletter” (第25号)

2012年2月20日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 20階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail：planning@asb.or.jp

Fax：03-5510-2712